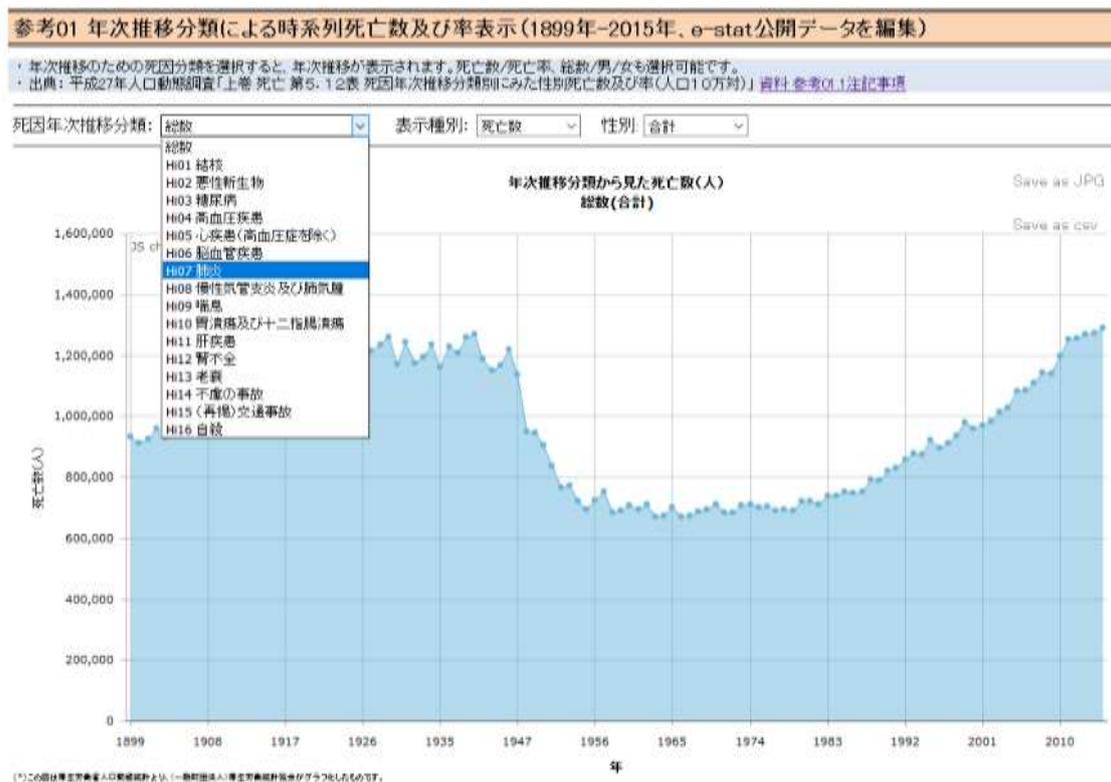


参考 01 死因年次推移分類による時系列死亡数・死亡率表示 利用方法

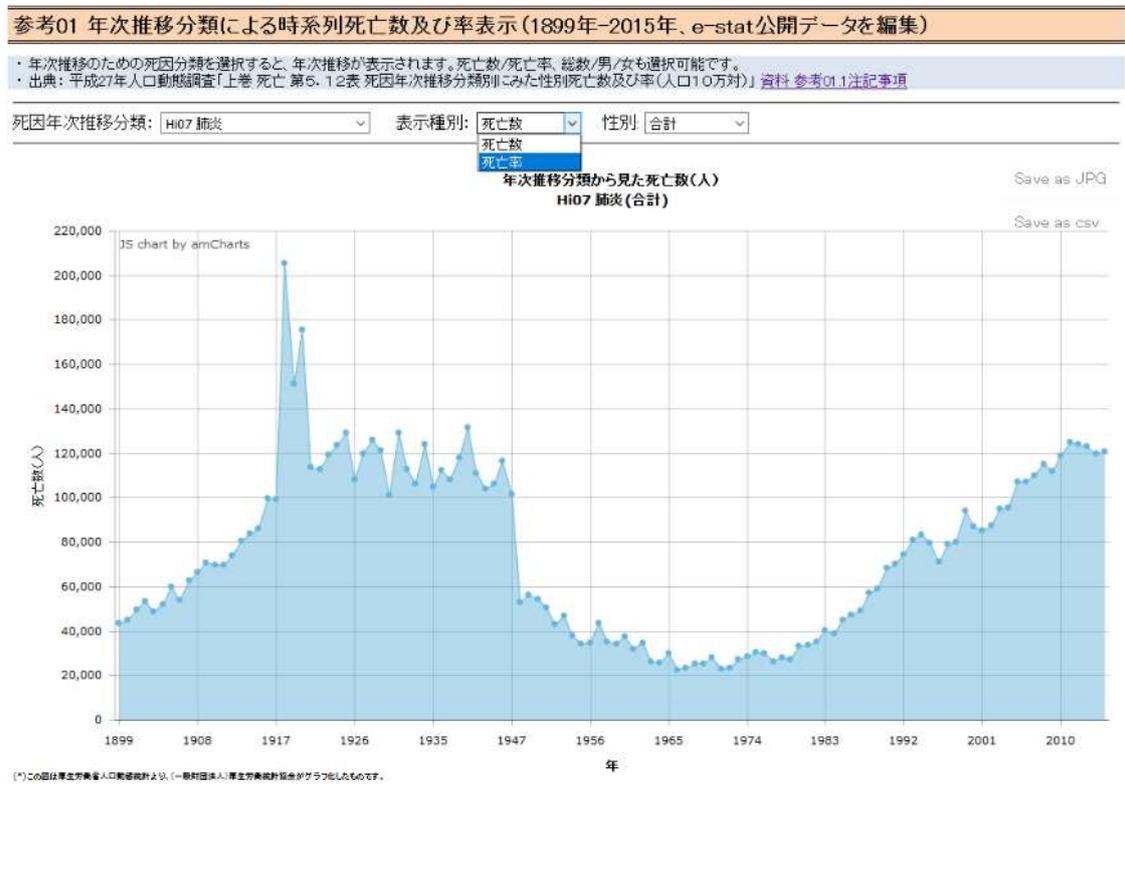
1. 付属 DVD のメインメニューより、参考 01 死因年次推移分類による死亡数及び率表示を選択すると、死因年次推移分類：総数、表示種別：死亡数、性別：合計のチャートが表示されます。また、マウスマウスカーソルをあてるとその年の死亡数が表示されます。



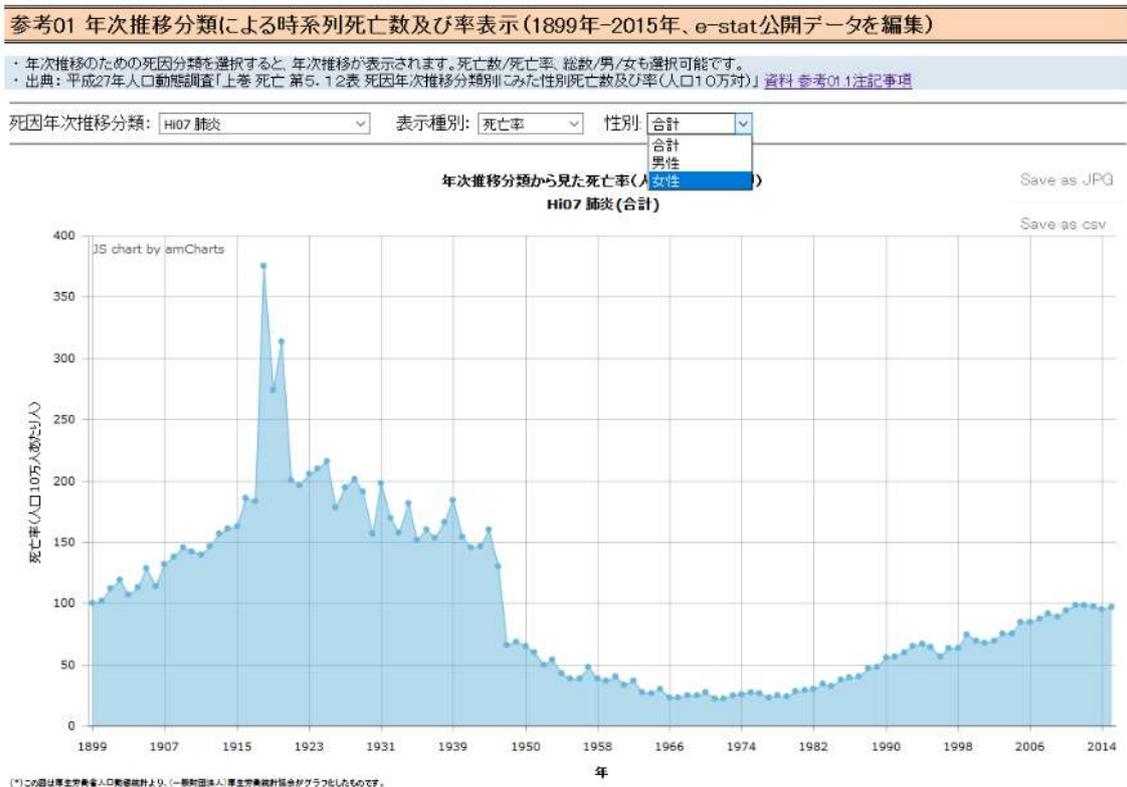
2. 表示しようとする年次推移死因分類を選択します（この場合は肺炎）。



3. 選択された死因（この場合は肺炎）の死亡数が表示されます。表示種別を変えることができます（この場合は死亡率）。

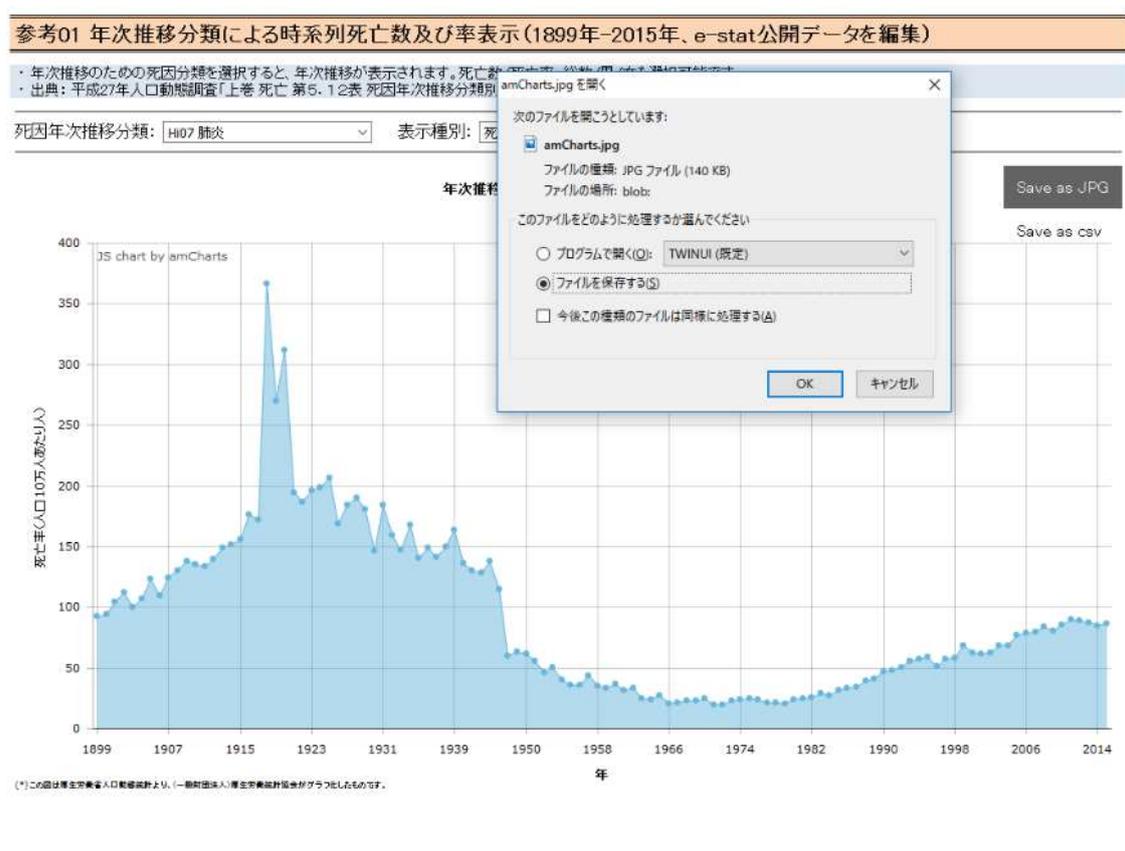


4. 選択された表示種別（この場合は死亡率）が表示されます。表示する性別を変えることができます（この場合は女性）。

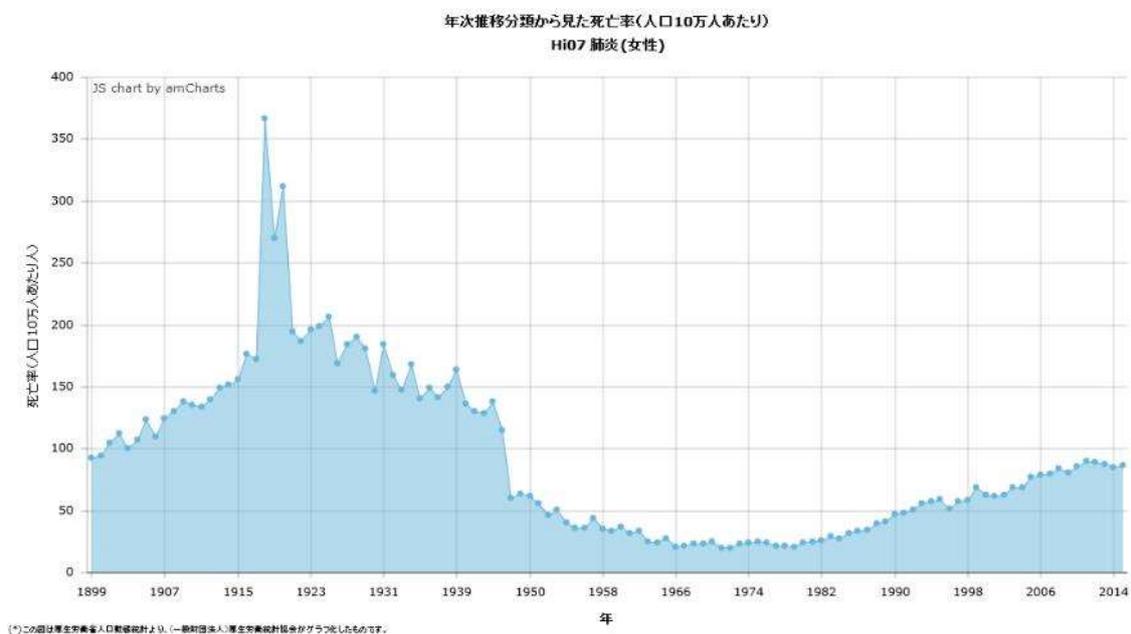


参考 01 死因年次推移分類による
時系列死亡数・死亡率表示 利用方法

5. 選択された性別（この場合は女性）の死亡数が表示されます。チャートを **jpeg** ファイルとして保存する場合は、**Save as JPEG** にマウスカーソルをあてて、クリックします。図のような対話ウインドウ（表示内容はパソコンの環境等によります）が表示されるので、「ファイルを保存する」を選択し、**[OK]** ボタンをクリックします。

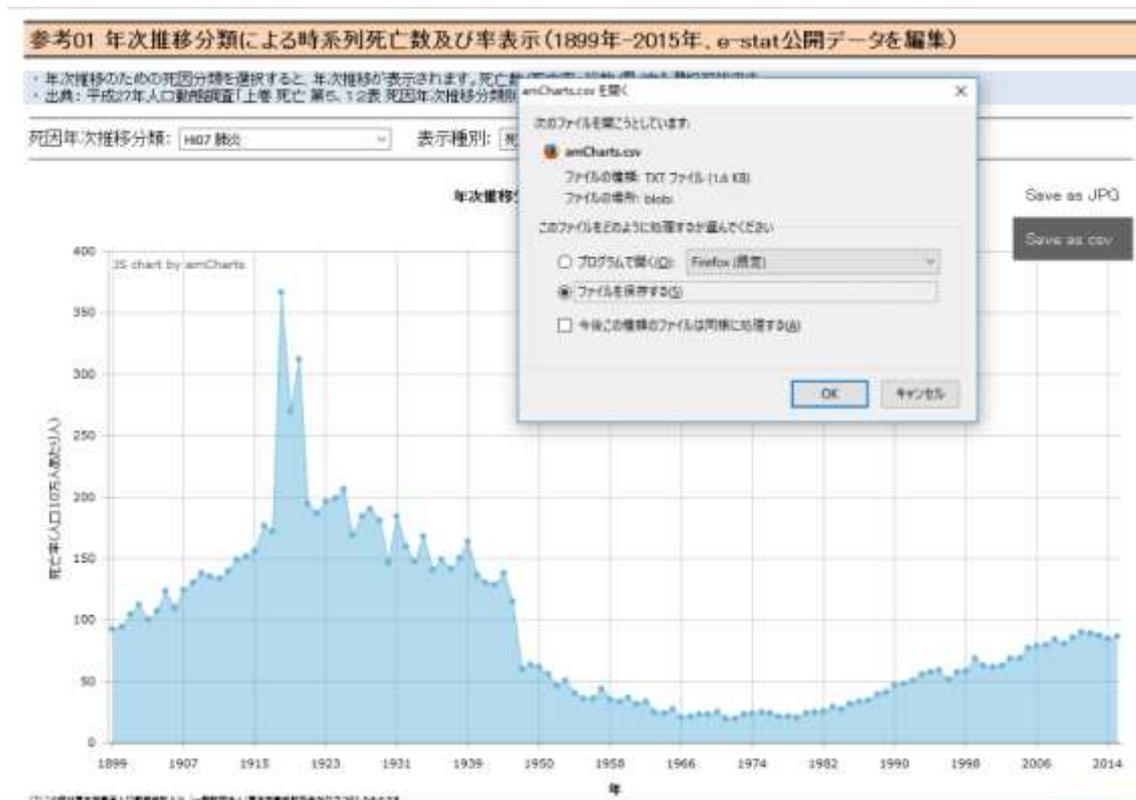


6. 保存された jpeg ファイルを開くと、チャートの部分だけが保存されているのがわかりま
す。保存された jpeg ファイルを他の資料に貼り付けることもできます。

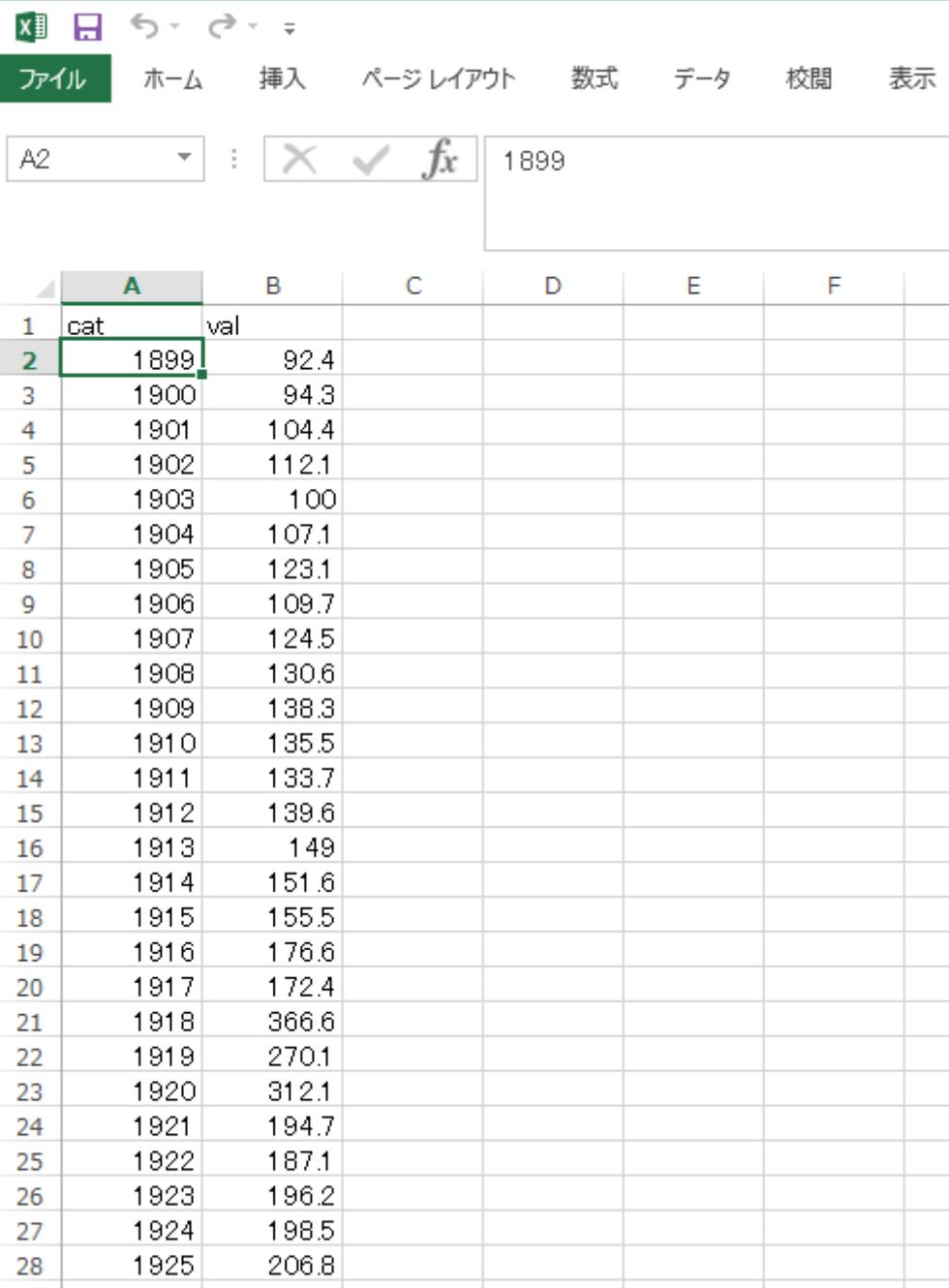


参考 01 死因年次推移分類による
時系列死亡数・死亡率表示 利用方法

7. csv ファイルとして保存する場合は、Save as csv にマウスカーソルをあて、クリックすると、図のような対話ウインドウが表示されます（表示内容はパソコンの環境等により変わります）。「ファイルを保存する」を選択し、「ok」ボタンをクリックします。



8. 保存された csv ファイルを、エクセルで開いて利用することができます。



The screenshot shows the Microsoft Excel interface. The ribbon includes 'ファイル' (File), 'ホーム' (Home), '挿入' (Insert), 'ページレイアウト' (Page Layout), '数式' (Formulas), 'データ' (Data), '校閲' (Review), and '表示' (View). The formula bar shows 'A2' selected and the value '1899' entered. The spreadsheet contains the following data:

	A	B	C	D	E	F
1	cat	val				
2	1899	92.4				
3	1900	94.3				
4	1901	104.4				
5	1902	112.1				
6	1903	100				
7	1904	107.1				
8	1905	123.1				
9	1906	109.7				
10	1907	124.5				
11	1908	130.6				
12	1909	138.3				
13	1910	135.5				
14	1911	133.7				
15	1912	139.6				
16	1913	149				
17	1914	151.6				
18	1915	155.5				
19	1916	176.6				
20	1917	172.4				
21	1918	366.6				
22	1919	270.1				
23	1920	312.1				
24	1921	194.7				
25	1922	187.1				
26	1923	196.2				
27	1924	198.5				
28	1925	206.8				

以上